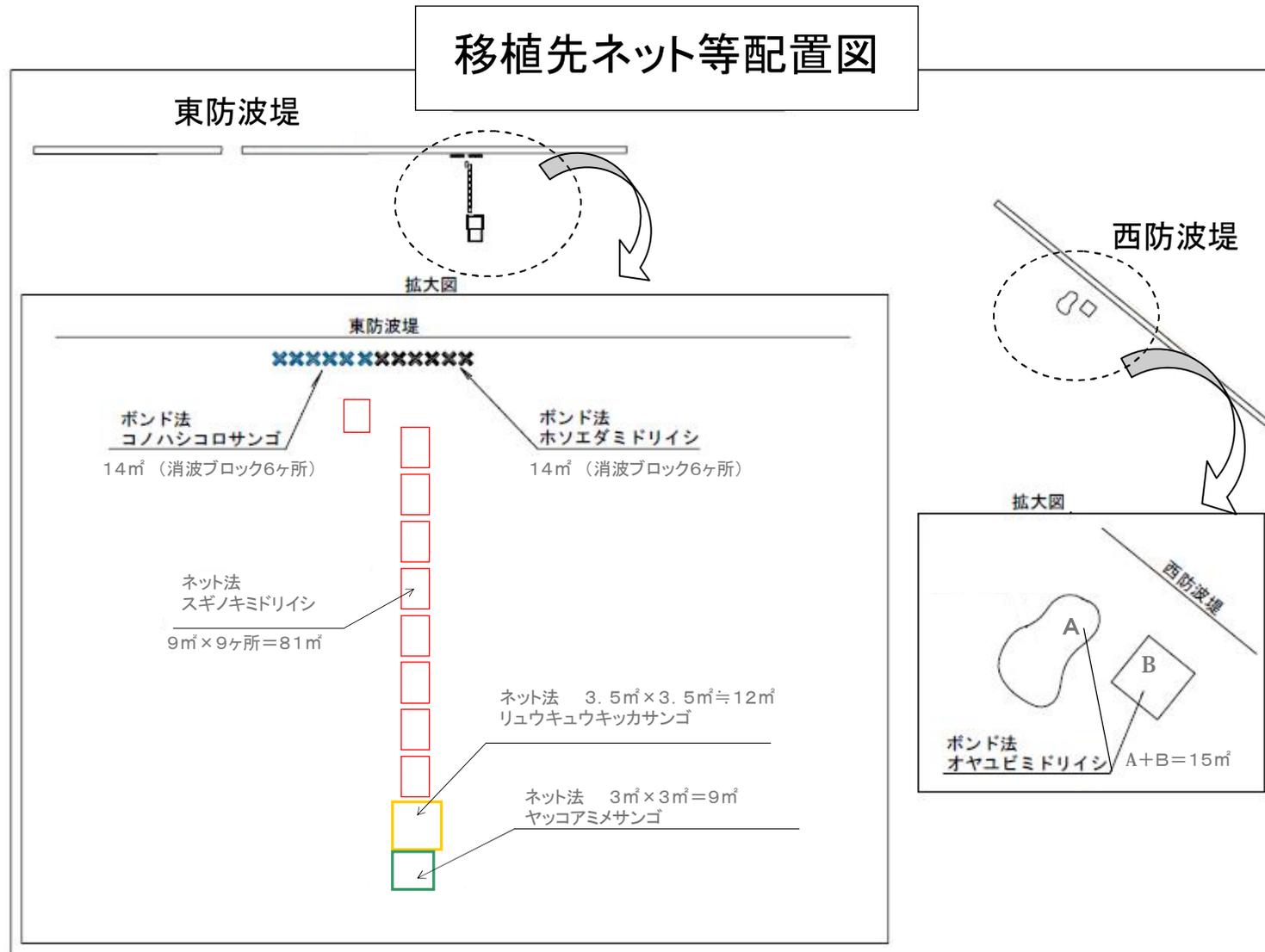


■ 移植先ネット等配置



ネット法・・・ブロックや鉄筋を用いて海底から約20cmの高さでネット（ワイヤメッシュ）を固定し、その上にネットとからむようにサンゴを配置する。
 やがてサンゴが成長し根をはる。サンゴの生息していないまとまった裸地や岩盤にて行う。
 その中の一部に関しては、ネットを設置せずにブロックで囲まれた内部へサンゴを配置する。

ポンド法・・・サンゴを充填目地剤（水中ポンド）で固定していく方法。岩盤上やテトラポットの間に敷き詰められたれき等の隙間などでも行う。